

経営者懇話会（情報交換会）

日 時：令和4年9月29日（木）午後6時25～8時5分

場 所：たかつガーデン「鈴蘭」

参加者：10名（会員のみ参加）

参加企業：朝田金属工業(株)、飯田金属工業(株)、伊吹産業(株)、上田産業(株)、向陽技研(株)、カネエム工業(株)、平金物(株)、(株)ニシムラ、(株)ハヤシ、(株)森鉄工所（10社 五十音順）

目 的：コロナ禍はまだ続いております。それに加えて最近の状況として、原材料や電気料金の高騰、半導体不足、極端な円安、人材の確保、SDGs対応など経営者の悩み事は絶えません。同業他社の皆さんはどのようにやり繰りをされておられるのか、何か良い施策やアイデアがあれば取り入れたい、など経営者同士の情報交換をして頂く目的で開催致しました。

総務・経営委員会の島田真輔委員長に司会進行をお願いして経営者懇話会を開始いたしました。

今回ご参加頂いた会員企業様は多種多様、プレス製造業でも取引先の業界が違う企業やプレスではなく板金の製造業、また製造業ではない賛助会員様も今回ご参加頂き、広く各業界のお話をお聞きすることが出来ました。

相変わらず続いているコロナの影響ですが、大きく売り上げが落ち込んだ時期に比べて最近では徐々に回復傾向にはあるようですが、それでもコロナ前と比べると2～3割減だそうです。特に半導体不足は各業界に影響が及んでおり、自動車メーカーのラインが停止するので計画通りに製造が進まないようです。自動車関連以外ではエアコンやガス機器関連は割と好調、家電や化粧品関連は低調、住宅用設備や建築関連は徐々に回復傾向とのことです。建築金物や家具部品の企業は他社にない独自の強みがあるそうです。

その他に興味深いお話として、海外や国内顧客へ出張に行くことが無くなりすべてリモート会議で成立するため出張旅費や交際費が必要無くなったとのこと、コロナが終息してもリモート会議で充分であるというご意見がありました。

原材料費の高騰には皆様それぞれのご苦労があるようです。値上げ分を売値に転嫁出来ている方とそうでない方、見積もり時は認められても実際に購入する時にはまた値が上がっているの追いつかないという方、価格の改定、登録、見積書作成などの事務処理に苦労されている方など様々でした。

SDGsやカーボンニュートラルの対応については、かつては自動車メーカーや大手家電メーカーから強い要求があり対応を迫られていたが、昨今の種々の混乱により最近ではめっきり聞かなくなったそうです。

最近の極端な円安については、当然ですが海外から部材、部品などを仕入れている企業にとっては大変難しく、逆に製品を輸出している企業にとっては追い風となっています。



経営者懇話会の様子

最後に人材の確保については皆様大変苦労をされておられます。コロナで人を減らしたが、業績回復で募集をしても応募がない、高卒生（特に男子）の採用は不可能、パートを募集しても来ない、時給を一体いくらにすれば来てもらえるのか、と悩んでおられました。共通のご意見として現在の従業員には待遇、給与面など手厚くして、出来るだけ辞めないように大事にしていく必要があるということでした。

予定の時間となり懇話会は終了しましたが、このあと近隣で懇親会（会食）を行い、情報交換、意見交換は続けました。

（補足）懇話会では具体的な取引先名、固有名詞などが飛び交っておりましたが、誌面では削除させて頂きました。